

ことば

【言葉】



旅に深みを増す、遊び心に満ちた文化空間 三島市

言葉を紡ぐという仕事をしていると、その素晴らしさや奥深さ、怖さを実感することが、しばしばある。“ことば館”というフレーズに魅かれ、三島散策の途中に立ち寄った「おおおかまこと大岡信ことば館」は、言葉に対する固定概念を覆し、その魅力を無限大に広げてくれた。


吹き抜け部分には、まっ白の壁にまっ白い文字で詩があしらわれ、1階からは見上げる形で、2階からは見下ろす形で鑑賞できる。2階のフロアには、半透明の布で造られた筒の中に宙吊りになった言葉が連なり、壁面には立体的に飛び出した文字が躍る。スタッフの豊田奈央子さんによると「文学館の枠にとらわれず、文学とアートを融合し



た空間になっています。鑑賞するだけでなく、新しいものを生み出す拠点にしてほしい」。新たな角度から言葉と向き合える心地よいひとときは、大いに感性を刺激し、旅のワンシーンに深みを増してくれた。

N 三島が生んだ詩人の世界観に浸る
大岡信ことば館

Note 〒411-0033 静岡県三島市文教町1-9-11 Z会文教町ビル1・2F ☎055-976-9160
開館時間 / 10:00~17:00 (入館は16:30まで)
休館日 / 月曜 (祝休日の場合は翌日)、年末年始
※展示入替期間中(2~3週間)は休館になるので事前に確認を

 **新東名** 長泉沼津ICより約30分 / **東名高速** 沼津ICより約25分

三島市出身の詩人である大岡信氏の作品を中心に、日本語の魅力を伝える。造形家である館長の岩本圭司氏のディレクションのもと、年間3回の企画展ごとに、文字や絵画を宙吊りにしたり、詩のフレーズを記した布を天井に張り巡らせたりと斬新な展示を行う。フロアには座布団が置かれ、ゆっくりと腰を下ろしたり、時には寝そべったり。思い思いのスタイルで言葉と向き合える空間には、押しつけない自由な時間が流れている。

